

は じ め に

確かな学力の向上を図るためには、学校において、支え合い高め合う集団づくりを行うとともに、子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で学習に集中することができる環境づくりに取り組む必要があります。そのためには、学びの基盤となる学習規律を子どもたちに身に付けさせることが大切です。

学習規律は、学級集団の中で自然に確立されていくものではありません。教師の意図的・計画的な指導によって、子どもたちに身に付いていくものです。また、子どもたちの守るべき学習規律は、教師が守るべき指導の規律でもあります。学校内の教師間の共通理解や全教師による共通実践が欠かせません。

このたび、岡山県教育委員会では、県内の各学校の学習規律の定着を図る好事例を収集し、実践事例集を作成しました。本冊子では、学習規律を、「授業規律（授業での約束・学び方）」と「生活規律（学校生活でのきまり約束・ルール）」に分け、それぞれの取組例を掲載しています。また、家庭での学習習慣の確立も学力を支える基盤となることから、その取組例も併せて掲載しています。

学習規律は、教室を学習する場に、学級を学習する集団にするための土台です。各学校において本冊子が積極的に活用されることを願っています。

最後に、学習規律の取組の実践例を御提供いただきました各校の先生方に、心よりお礼申し上げます。

平成25年8月

岡山県教育庁義務教育課

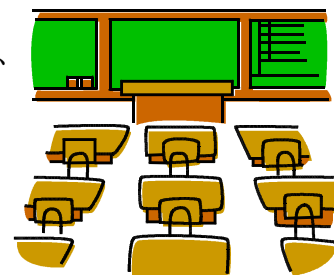
目 次

1	学習規律の徹底に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	授業のやくそく「これだけは！」～学習規律 取組例～・・・・・・・・・・	4
	【準備】	・授業の始まりと終わり（小）
	【書く】	・鉛筆の持ち方（小） ・ノートのきまり（小）
	【返事】	・めざせ「話し方名人」「聞き方名人」（小） ・発表の仕方、聞き方5か条（中）
	【姿勢】	・授業中の姿勢（小）
	【授業規律】	・7つの約束（小） ・全授業で取り組んでいる約束（中） ・よりよい授業への取組実践（中） ・学習のルール（中） ・授業規律（中） ・学習の約束（中）
3	生活のやくそく「これだけは！」～生活規律 取組例～・・・・・・・・・・	16
	【時間を守る】	・授業参加の3原則（中）
	【あいさつ】	・朝、学校に来たら（小） ・あいさつ運動（小・中）
	【整理・整頓】	・学習用具のきまり（小）
	【そうじ】	・掃除の仕方（小） ・さしすせそうじ（小）
	【生活規律】	・東っ子5つの約束（小） ・生活十か条（中） ・落ち着いた学校生活をおくるために（中）
	【徹底に向けて】	・「生活チャレンジカード」の活用（小） ・「アンケート」の活用（小）
4	学習習慣の定着に向けた取組例・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	【習慣化】	・家庭学習の手引き（小） ・家庭学習の方法（中）
	【質の向上】	・さあ、はじめよう！（小） ・自主学習一覧表（中）
	【家庭との連携】	・中学校区の家庭学習の手引き ・規則正しい生活リズムの確立と家庭学習習慣定着のための目安表

※（小）は小学校、（中）は中学校の取組例です。

1 学習規律の徹底に向けて

学習規律は、一度指導すればそれで終わりというものではなく、継続的な指導により、一人一人の子どもたちにしっかりと身に付けさせることが大切です。学習規律の徹底を図るために、以下の7点に留意して、取り組んでみましょう。



① 学習規律の重点項目を絞って

「まずは、ここから」「この3点が特に弱いから」など、子どもたちの実態、教職員の願い、学校としてのめざす子ども像などから、重点的に指導する項目を絞りましょう。あれもこれもと欲張ると、なかなか徹底できません。

年度末に取組を見直して、項目を付け加えたり変更したりして、レベルアップをめざしましょう。

② 誰もが分かるように

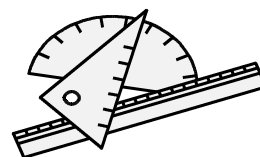
全教職員が、子どもたちが、保護者が、地域の人が、学校を訪れた人が、他校の先生方が…、誰もが分かるような工夫をしましょう。学習規律が目につれるところにあると、常に意識できるようになります。

掲示物にして各教室に掲示したり、ガイドブックやハンドブックにして教職員や子どもたちが確認できるようにしたり、学校通信や学級だよりで家庭に配布したりなど、様々な工夫が考えられます。この冊子の取組例も参考にしてください。

③ 共通理解、共通実践を

学習規律について、共通理解はもちろん必要ですが、さらに大事なのは共通実践です。話し合っただけ、作成しただけ、掲示しただけにならないようにしましょう。

全教職員が同じ規準で自分たちのしたことを判断してくれることが分かると、子どもたちは安心して学校生活が送れるようになります。



④ 最初が肝心

学年始めや学期始めに、学習規律の指導に力を入れると定着しやすくなります。大きな行事が終わった後も仕切り直しのチャンスです。指導にあたっては、毅然とした態度で行うことが必要です。

また、子どもたちの発達段階に応じて、学習規律を守ることが学習を効果的に進め、学力の向上につながることなどの学習規律の意義についても、理解できるように指導しましょう。

⑤ チェックする機会を

学習規律がどの程度身に付いているか、また、子どもたちがどの程度意識しているかなど、チェックする機会を設定しましょう。子どもたちや教職員の自己評価や見とりなど、多面的なチェックができるように工夫することも大切です。

また、チェックした結果を表やグラフ等で「見える化」して、子どもたちや保護者に知らせ、意欲の持続を図りましょう。

⑥ 根気強く、繰り返して

一度言ったから分かる、一度指導したからできるものではありません。よくできたら褒め、できなかったら指導することを繰り返し、根気強く取り組みましょう。真剣さの中にも温かみのある指導を根気強く、継続的に行うことが大切です。

また、些細な変化を見逃さず、タイムリーな指導を心がけましょう。目立たないけれどまじめにけなげにがんばっている子どもたちにも目を向けて声をかけることも忘れないでください。

⑦ 小中連携、家庭・地域の協力体制を

小中学校のなめらかな接続や指導の継続は、学年がかわったり、中学校に進学しても、子どもたちが、安心し、落ち着いて学習に取り組むことにつながり、また、学習の効果も上がります。小中連携を進め、学習規律についての情報交換を積極的に進めましょう。

また、学習規律の定着には、家庭や地域の協力が必要です。学校で取り組んでいる学習規律を家庭や地域の人に積極的に発信し、理解してもらうことで、学校・地域・家庭が同じ視点で子どもたちを見守り、一体となった取組につながります。



2 授業のやくそく「これだけは！」

～ 授業規律 取組例 ～

みんなでがんばる おかやまっ子

授業のやくそく「これだけは！」

【準備】

- ・休み時間に次の学習用具を準備する。

【書く】

- ・鉛筆を正しくもって書く。

【返事】

- ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。

【姿勢】

- ・正しい姿勢で学習する。



岡山県マスコット ももち

【準備】・授業の始まりと終わり

○学習に関して、教職員で共通理解したことを、いつでも必要なときに手にとれようにハンドブックにまとめています。

平成25年度 学習ハンドブック



鏡野町立南小学校

《 授業の始まりのあいさつ 》

代表児童（日直）が号令をかける。

起立

号令：「気をつけ。これから○時間目の勉強を始めます。礼。」

全員：「お願いします。」→礼をする。

着席

- ・これを基本の形として、低学年では「気をつけ」を「よい姿勢をしましょう。」に変える等の変更は可。
- ・児童を起立させて号令をかけるか否かは、発達段階やクラスの様子に応じて臨機応変に指導してよい。起立させる場合はいすは入れない。

《 授業の終わりのあいさつ 》

代表児童（日直）が号令をかける。

起立

号令：「気をつけ。これで○時間目の勉強を終わります。礼。」

全員：「ありがとうございました。」→礼をする。

着席

次時の準備をしてから、離席する。

○学習活動のきまり

1 次時の準備の仕方

- ・授業が終わったら、机の上に次の授業の準備をしてから休憩にする。
（教科書、ノート、筆箱、下敷き、資料など）
ただし、1年生前半など、実態に応じて、机上に何も出さないこともある。



- ・体育の時間には、着替えた服をきれいに机の上にたたんでおく。
次に授業があるときには、袋の中にしまっておく。

2 教室移動の仕方

- ・体育館やアリーナ、特別教室への移動は、廊下に並んで静かに移動するのが望ましい。（帰りも同様とする）
- ・体育館への移動では、会や式典が始まる時刻までには、移動を完了しておく。

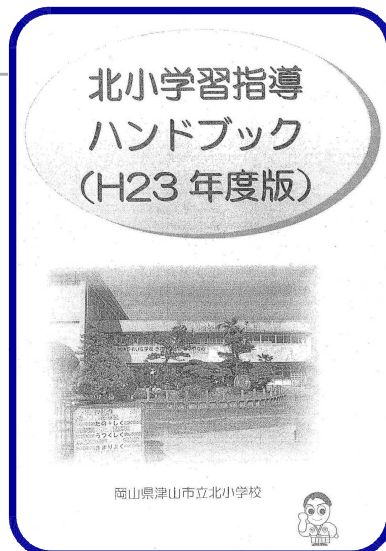
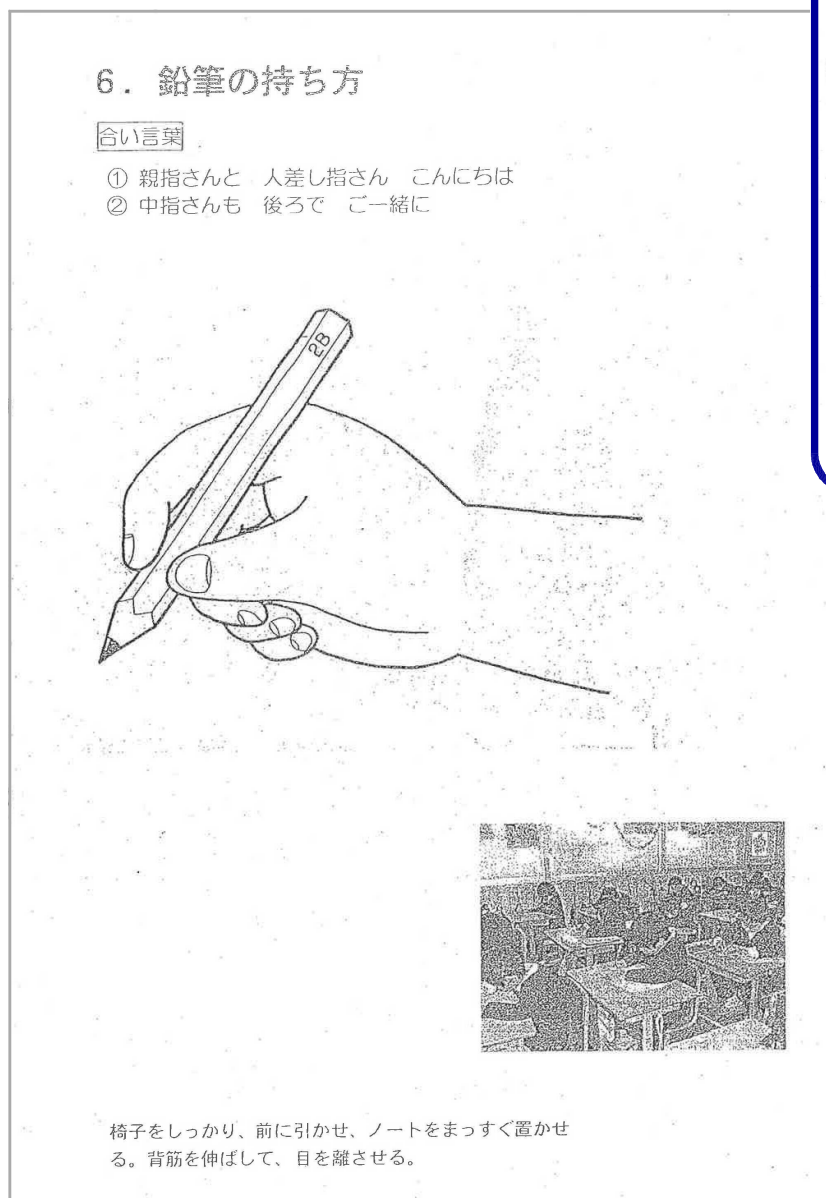
「学習ハンドブック」より

○学習の始まりは、特に大切にしています。児童も教師も準備を整えて授業が始められるように気をつけています。

○このハンドブックにより、全教職員が方向を同じにして指導にあたることができます。

【書く】・鉛筆の持ち方

○小学校 6 年間の積み上げや系統性の大切さを意識しながら、全教職員がベクトルを合わせて児童の指導に当たれるように、「学習指導ハンドブック」を作成しました。



○学力向上をめざして、学習を効率的に、秩序正しく進めるための一つの手立てとして、このハンドブックを活用しています。

○「基本的な学習のしつけ」により最低限必要な型を指導し、成長に合わせて徐々に型をはずして自主性を育てていくことが大切です。

【返事】・めざせ「話し方名人」「聞き方名人」

めざせ！話し方名人！

- ① 声の大きさと速さに気をつけて話す
- ② 聞き手を見て話す
- ③ ていねいな言葉づかいで話す
「～です。」 「～ます。」
「～だと思えます。」
- ④ すじ道を立てて話す
- ⑤ 「まず」「それから」「だから」「そのわけは」

＜話す内容の順じょ＞

1. いつ
2. どこで
3. だれが
4. 何を
5. どうした
6. どうだった

「相手に伝えるように工夫しよう」という気持ちを大事にね。

めざせ！聞き方名人！

- ① 話している人の方をみて聞く
- ② 自分の考えと同じところ・ちがうところを考えながら聞く
- ③ 話の中心に気をつけて聞く
- ④ 大事なことをメモしながら聞く
- ⑤ 質問をしたり感想（さん成・反対）を言ったりしながら聞く

「相手のことをたくさん知りたい」という気持ちを大切にね。

学年に応じて「話すポイントカード」を作成し、カードを見ながら話し方や聞き方を意識して学習に取り組むようにしています。

○学年の発達段階に応じて、分かりやすい言葉にして掲示を行い、毎日の授業で活用しています。



○児童の実態に応じて、話し方・聞き方がうまくなできるようにしたら、カードを使わずに話し合いを進めるなど、使いやすい形に工夫しています。

4年生：手元で使える形のカードにして、交流の場面で活用

【返事】・ 発表の仕方、聞き方 5 か条

○各教室に掲示し、話し合い活動やグループ協議など、常に意識できるようにしています。

○小学校との連携を考え、学区の小学校で掲示されている「発表の仕方」「聞き方」を中学校版にしています。

～発表の仕方 5 か条～

- ・ **「はい」と返事**をして発表する
- ・ **大きな声**で発表する
- ・ **ゆっくりと丁寧**に発表する
- ・ 発音を **はっきり**と発表する
- ・ **相手を見て**発表する

～聞き方 5 か条～

- ・ **相手を見て**聞く
- ・ **だまって最後まで**聞く
- ・ 共感できたら **うなづく**
- ・ 必要なことがあれば **メモをとる**
- ・ 疑問なことや聞き取れなかったところは、
もう一度確認する

【姿勢】・授業中の姿勢

○写真を使って分かりやすく掲示や説明をしました。



「背筋を伸ばして」



「手は膝に」



「足は床にぺったりつけて」



「挙手は手をのばして」

○低学年のうちからきまりを徹底し、
落ち着いた学習環境が形成されています。
○学力も確実に向上してきました。

○学校のホームページに掲載し、正しい姿勢をはじめ、授業や学習の取組についても発信しています



【授業規律】・ 7つの約束

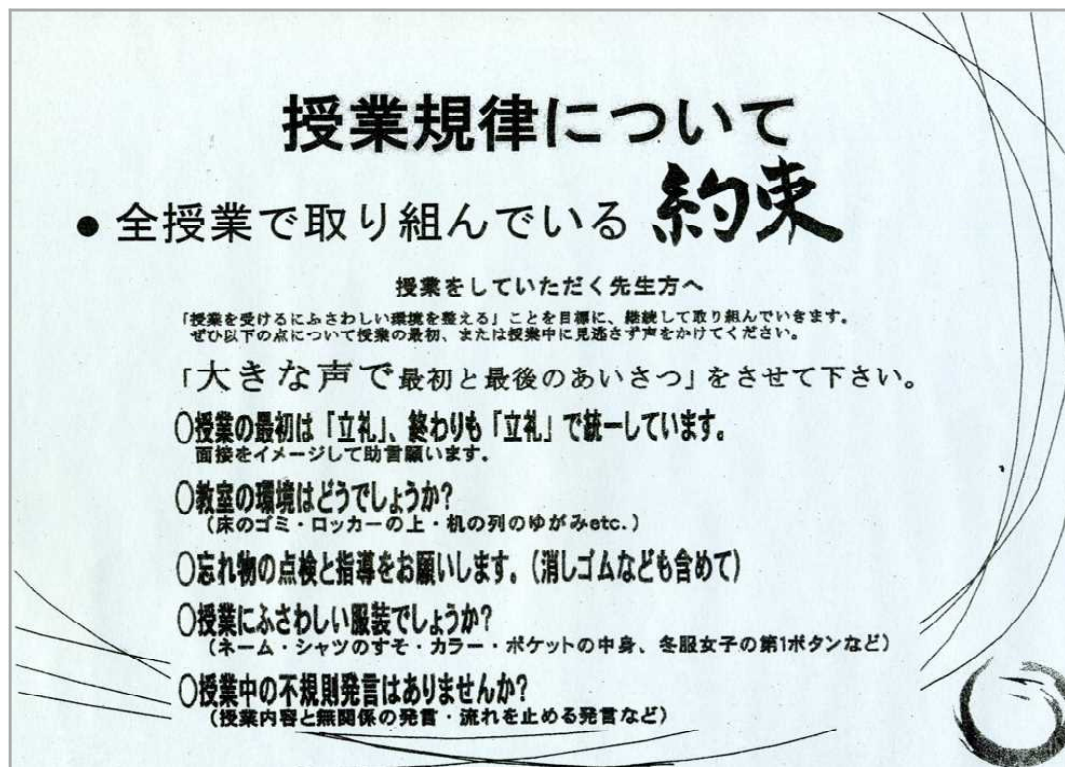
- 授業規律を「7つの約束」として、設定しています。
- 全教室に掲示し、学校全体で授業規律の徹底を図る意図で作成しました。
- 子どもに身に付けさせる授業規律のみでなく、教師が守るべき指導規律を子どもと教師が共有するところが大きな特徴です。

こ ども	せ ん せ い 生
1 学習用具はそろえておく	1 学習の計画を書いておき、 計画通りに授業をする
2 チャイムの合図で学習が始まるように準備して、席に着く	2 チャイムの合図をきちんと守る
3 授業の始まりと終わりのあいさつをきちんとする	
4 考えるときは時間いっぱい考える	4 必ず学習のめあてをはっきりさせる
5 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をして、「～です。」まで、はっきりと話す。	5 何をどのようにすればよいか、わかりやすく説明してから活動にうつる
6 すぐにわからないときには、「考え中です。」「わかりません」とはっきり言う	6 「～君」「～さん」をつけて呼び、子どもの発表をきちんと聞く
7 先生や友達の話は、最後までだまって聞く	7 学習のまとめをして、学習したことを確かめる

- 学年主任会では、毎月話題に取り上げて各学年の状況を確認し、徹底に向けて取組を継続しています。

【授業規律】・全校でよりよい授業への取組

○全ての授業で共通した約束のもとに取り組み、学びの基礎的な環境を整えることを目的としています。



授業規律について

● 全授業で取り組んでいる 約束

授業をしていただく先生方へ

「授業を受けるにあわしい環境を整える」ことを目標に、継続して取り組んでいます。
ぜひ以下の点について授業の最初、または授業中に見逃さず声をかけてください。

「大きな声で最初と最後のあいさつ」をさせて下さい。

○授業の最初は「立礼」、終わ時も「立礼」で統一しています。
面接をイメージして助言願います。

○教室の環境はどうでしょうか？
(床のゴミ・ロッカーの上・机の列のゆがみetc.)

○忘れ物の点検と指導をお願いします。(消しゴムなども含めて)

○授業にふさわしい服装でしょうか？
(ネーム・シャツのすそ・カラー・ポケットの中身、冬服女子の第1ボタンなど)

○授業中の不規則発言はありませんか？
(授業内容と無関係の発言・流れを止める発言など)

○本校はノーチャイムですが、この取組を始めて、授業開始のときには生徒たちの準備が整っているようになりました。一人一人の意識が高まっています。

《より良い授業への取り組み実践 5 項目》

- 時計を見て、早めに行動しよう
- 大きな声であいさつをしよう
- 忘れ物をなくそう
- 授業中の私語をなくそう
- すすんで発表、質問をしよう

平成25年度 昭和中学校生徒会 評議員会

【授業規律】・学習のルール

平成24年度

学習の手引き・ 自主学習一覧表



新見市立哲西中学

()年()月()日

○「学習の手引き・自主学習一覧表」の冊子を作成し、毎年度、全校生徒に配布しています。

○1年生には、特に、年度始めにハンドブックを用いて全体に指導した後、各教科の担当からさらに詳しい説明をしています

学習のルール

◎ 授業時間を大切にしよう。

- ・始業の2分前までに着席しておく。
- ・時間と同時にあいさつをしよう。
- ・授業の前後のあいさつをきちんとしよう。
(服装・指先・礼のふかさ 等)

◎ 授業に積極的に取り組もう。

- ・人の話をしっかり聴こう。
(発表・発言・説明等)
- ・今日の目標を意識して授業を受けよう。
- ・正しい姿勢で授業を受けよう。
- ・自分の考えを積極的に発表しよう。
- ・思い切って質問をしてみよう。

◎ 休み時間との切り替えをしよう。

- ・次の授業の準備をしてから休憩に入ろう。
- ・忘れ物は早めに先生に申し出よう。
- ・課題は必ずをきちんとしよう。

◎ タブレット型コンピュータを 有効に使う。

- ・授業中は必ず指示に従おう。
- ・自分できちんと管理をしよう。

【授業規律】・ 授業規律

- 全教職員で共通理解・確認し、全教室・教卓に置いています。
- 本校の研究テーマ「基礎学力の向上と表現力をつける授業」づくりのために、大変有効で必要なものです。

学 習 規 律

- ①チャイムが鳴り終わるまでには、机上に授業の準備をしておく。
- ②チャイム着席を徹底する。
- ③机の整頓をし、服装を整える。(ボタン、リボン、袖その他)
- ④授業開始の挨拶は大きな声でする。
- ⑤授業者は、授業準備物の確認チェックをする。
- ⑥今日の授業の目標を伝える。
- ⑦当てられたら「ハイ!」と大きな声で返事をしてから発表する。
- ⑧授業の中に数人のグループ学習を取り入れたり、声を出す場面を取り入れることで、全員が何かの形で参加できる工夫をする。
グループ学習では、机を完全に隣とくっつけることを徹底する。
- ⑨終わりには「まとめ」「反省」をする。
- ⑩授業終了の挨拶は大きな声でする。

- 教務主任者会で共通理解をして、学区内の小中学校ともに同様の内容にして連携を図っています。

【授業規律】・ 学習の約束

がく しゅう やく そく 学 習 の 約 束

美作中学校区 美作第一・美作北小学校

- 1 きゅうけい時間から、学習用具をそろえておく。
- 2 チャイムの合図を守る。
- 3 よい姿勢で学習する。
- 4 話をしている人の顔を見て、最後まで話を聞く。
- 5 自分の考えを持ち、進んで発表する。
- 6 ノートをとるときは、ていねいな字でせいかくに書く。

※ 美作中学校区の小学校と中学校の3校が連携して児童・生徒の教育に当たる取組を進めています。その中から、「学習の約束」を作り、小学校から中学校まで一貫して指導していきます。ご家庭におかれましても児童への言葉かけをお願いいたします。

○中学校区で共通の「学習の約束」をつくり、小中連携した指導を行っています。

○家庭へも「学習の約束」を配布し、児童生徒への声かけ等の協力をお願いします。

学 習 の 約 束

○中学校区共通の「学習の約束」をもとに、美作中学校の「学習の約束」を作成し、各教室に掲示して意識付けを図っています。

- ① 授業に必要なもの（準備物・宿題）を忘れない。
- ② チャイムで授業を始める。
- ③ 机やロッカーを整頓し、よい姿勢で学習する。
- ④ 先生や友だちの話をよく聞く。
- ⑤ 聞いた内容を整理したり深めたりする。
- ⑥ 自分の意見を進んで発表する。
- ⑦ 発表は理由をつけて分かりやすくする。
- ⑧ ノートは丁寧な字で、正確にとる。
- ⑨ 最後まで、集中して授業を受ける。
- ⑩ プリントの整理や宿題の確認をきちんとする。

3 生活のやくそく「これだけは！」

～ 生活規律 取組例 ～

みんなでがんばる おかやまっ子

生活のやくそく「これだけは！」

【時間を守る】

- ・チャイムや合図、時間を守って行動する。

【あいさつ】

- ・「おはよう」「いただきます」「さようなら」など、進んであいさつをする。

【整理・整頓】

- ・持ち物や机・ロッカーの中などを整理・整頓する。

【そうじ】

- ・そうじは、だまってする。



岡山県マスコット ももっち

【時間を守る】・授業参加の3原則

○学習の仕方や家庭学習の進め方についてのヒントとなるように、「学習の手引き」を作成しました。

○授業を受ける心構えとして、「気がまえ」「身がまえ」「ものがまえ」の3点から生徒に意識付けています。特に、チャイムに合わせて時間を守ることを重視しています。

第1章 授業の受け方

1 授業参加の3原則

授業参加の3原則

- 原則1 気がまえ
- 原則2 身がまえ
- 原則3 ものがまえ

授業規律

- 1 準備する
- 2 集中する
- 3 しっかり聞く

原則1 気がまえ

- ① チャイムに合わせて行動する。
- ② 礼に始まり、礼に終わる。
(けじめのある「始まり・終わり」のあいさつ)

原則2 身がまえ

《聞き方》

- ① 相手を見て聞く。
- ② 手を止めて聞く。
- ③ うなずきながら聞く。

《話し方》

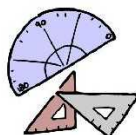
- ① 相手を見て話す。
- ② 相手に合わせた言葉づかいで話す。
- ③ 場所に合った声の大ききで話す。
- ④ わからないときは、はっきりと質問をする。

《書き方》

- ① ノートは自分の参考書となるように書く。(色や線・資料の工夫)
- ② 目標からまとめまで、学習の流れがわかるように書く。
- ③ 各教科の特色を考えて書く。

原則3 ものがまえ

- ① 授業に必要な教科書・ノート・筆記用具を机の上に準備する。
- ② 忘れ物をしない。



【あいさつ】・朝、学校に来たら

「生活サポートブック」より

○本校は学級数が多く、様々な年齢層の教職員で構成されていて、指導の仕方や考え方に温度差が生じる場合もあったため、「サポートブック」づくりに取り組みました。

○経験年数の長い職員を中心に、日頃の実践の中から学んだことをページごとに分担して作成しています。

○「サポートブック」をもとに、共通理解をして、折にふれて手にとることで全教職員が同じ思いをもって児童に接し、指導力をレベルアップしていくことを目指しています。

朝の時間 学校に来たら

◆ねらい◆

- ・学級の人々とあいさつを交わし、1日の学校生活を気持ちよくスタートできるようにする。
- ・気持ちよく過ごすためには、身の回りを整理整頓することが大切であることに気づかせる。

◆具体的な活動◆

- ①教室に入る時、みんなにあいさつをする。
友だちに元氣よく「おはようございます。」のあいさつをする。
- ②ランドセルの荷物を机の中に整理して入れる。
教科書やノートなどは、時間割り順に入れて入れる。
- ③ランドセルを後ろのロッカーに片づける。
ロッカーからはみ出さないように整頓して入れる。
- ④宿題を決められた場所に出す。
集金袋等、大切な提出物は、直接担任に渡す。

◆教師のちょっとした配慮◆

左側に教科書・ノート類を時間割り順に置く。使った教科書などは、順に下に入れ込む。

右側には、のり・はさみ・色鉛筆等の道具類を、すぐ使えるように整理しておく。

中・高学年では、毎朝、係に点検させるといいですよ。低学年では、点検カード等を使うと効果があると思います。



◆教師のちょっとした配慮◆

左側に教科書・ノート類を時間割り順に置く。使った教科書などは、順に下に入れ込む。

右側には、のり・はさみ・色鉛筆等の道具類を、すぐ使えるように整理しておく。

中・高学年では、毎朝、係に点検させるといいですよ。低学年では、点検カード等を使うと効果があると思います。



ランドセルや荷物がロッカーからはみ出ないように整頓して置く。

【あいさつ】・ あいさつ運動

吉備小のよき伝統を受け継いで（笑顔であいさつ）
～高学年の主体的な活動の取組～

アピールポイント

本校には、全校で取り組んでいるよき伝統がたくさんある。その一つに「あいさつ日本一の学校になろう」があり、十数年間継続的に行っている。

この伝統を守ろうとする高学年の意識は高く、主体的な取組が低学年の手本となり、全校に波及している。



取組の概要

■児童生徒の実態

高学年になるほど積極的にあいさつをしようとする意識は高くなるが、全校ではまだ十分とは言えない。

■活動内容

「高学年がまず手本を示そう」の意識から、率先してあいさつをしたり、朝、自主的に靴箱付近に立ち、登校してきた児童に大きな声であいさつをしたりしている。また、児童会が中心となり、「あいさつ運動週間」を行っている。教職員も児童へ、また、教職員同士で、を常に心がけている。

■取組の参加メンバー

児童、児童会、教職員。

■成果・効果

高学年の取組を価値づけ、継続的に取り組むことになってきた。また、地域でも「大人からあいさつを」が

○毎月10日の「県下一斉あいさつ運動」を中心に、各校の特色ある取組が行われています。

○岡山県教育委員会のホームページには、「児童会・生徒会活動の充実」「地域連携」「小中連携」「基本的生活習慣の定着」の4点からのあいさつ運動の取組例を掲載しています。

「岡山県教育庁義務教育課
ホームページ」より

○各校の取組は、岡山県教育委員会
ホームページをご覧ください。

[http://www.pref.okayama.jp/
page/344866.htm](http://www.pref.okayama.jp/page/344866.htm)

あいさつの東中

～ 生徒会活動を中心にして ～

アピールポイント

生徒会活動の三本柱である「人権」「あいさつ」「ボランティア」を最大限に生かしながら、生徒自らが気持ちの良いあいさつが交わされる「元氣よく、明るい学校」づくりをしている。

実際の様子



取り組みの概要

◆児童生徒の実態

生徒数は少ないが、明るく 純朴 素直で 物事にまじめに取り組む。特に開校時から生徒会活動が活発で、「人権」「あいさつ」「ボランティア」を活動の柱として、積極的に取り組む生徒たちである。

◆活動内容

大曜、木曜の朝 水曜の放課後のあいさつ運動、校内での日常的なあいさつ、下校時のあいさつ運動

◆取り組みの参加メンバー

あいさつ運動は生徒会執行部と学級委員会、日常は全生徒、下校時は教職員

◆成果・効果

・生徒会の呼びかけや上級生の積極的なあいさつにより、声の大小はあるが全生徒が顔を合わせることにあいさつをかわすことが通常になっている。
・来校者も生徒の爽やかなあいさつに感動され、本校全体のイメージアップにも貢献している。
・来校者の賛辞を機会あるごとに生徒にも伝えることで、一層の自覚に繋がっている。

【整理・整頓】・学習用具のきまり

神目小学校 2年生 がくしゅうようぐのきまり

- 学校は、べんきょうを する ところです。
- じゅぎょうで こまらないように、がくしゅうようぐを きちんと そろえましょう。
- がくしゅうに ひつようなものだけを もってきます。

ひきだしの なか

けずった えんぴつ (2B)	4
けずった えんぴつ (6B)	1
けずった 赤えんぴつ	1
けしゴム	1
なまえペン	1
ミニじょうぎ (10～15センチ)	1

ひきだしの なか

□ クーピー

ロッカーの なか

のり
はさみ
ブロック けいさんカード
クレパス
ねんど ねんどばん ねんどべら
えのぐセット
けんぱんハーモニカ
たいそうふく 赤白ぼうし

その他の なか

したじき
じゅうちょう
れんらくファイル

○学年に応じて、必要な学習用具と片付ける場所を示して、児童自ら整理整頓ができるようにしています。

神目小学校 5・6年生 学習用具のきまり

- 学校は、勉強をするところです。
- 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえましょう。
- 学習に必要なものだけをもってきます。(必要ないものは持って来てはいけません。)

筆箱の中

けずった えんぴつ (BかHB)	5
けずった えんぴつ (6B)	1
赤ボールペン (赤えんぴつ) と 蛍光ペン (担任の先生の指示で)	各1
消しゴム	1
ネームペン (油性)	1
ミニ定規 (10～15センチ)	1

ひきだしの 中

のり
はさみ
クーピー
コンパス
三角定規・分度器

ロッカーの中

習字セット
絵の具セット
リコーダー
けんぱんハーモニカ
裁縫セット
体操服・赤白帽子

その他

下じき
連絡ファイル



彫刻刀やカッターナイフは、使う時だけ持って来て先生があずかります。名前を必ず書いておきましょう。

【そうじ】・掃除の仕方 ・さしすせそうじ

○サポートブックの中に、掃除についても全教職員で共通理解すべきことを入れています。

掃除をする

アドバイス

学校での掃除場所は、教室、廊下、階段、体育館、図書室などだが、ここでは、教室の掃除を取り上げる。次の順序で行う。

① 給食後、机・椅子は教室の後方へよせる。

② 教室の窓を開け、黒板を消し、教室前方の廊から後方に向けてほうきでく。

掃除の準備をする

●教室の窓を開ける・黒板を消す

●机・椅子を後方へよせる。

教室の床をはく

●ほうきでく

●ゴミを黒め、ちりとりでとる

床・机をふく

●乾雑巾で床をふく

●机の上をふく

机・椅子を整頓する

「サポートブック」より

掃除は分習と協力が大切

教室の掃除は、分担し、協力してやらなければなりません。「かたづける」「はく」「ふく」「ごみを集める」などの動作のポイントを、あらかじめ全員が体験できるようにしておきましょう。掃除当番や掃除分担はそのあと、公平に決めることが大切です。

また、学校の掃除道具には、雑巾・ちりとり・黒板消し・バケツ・竹ぼうき・土間ぼうき・モップなどがあり、さまざまな動作を学ぶことができます。

○学校全体で生活習慣の約束を頭文字をとって「み・そ・あ・じ」の合い言葉にしています。

大崎小学校 みんなのやくそく

み みだしなみ

そ そうじ

あ あいさつ

じ じかんをまもる

さしすせそうじ

さ さいごまで

し しずかに

す すみずみまで

せ せいりせいとん

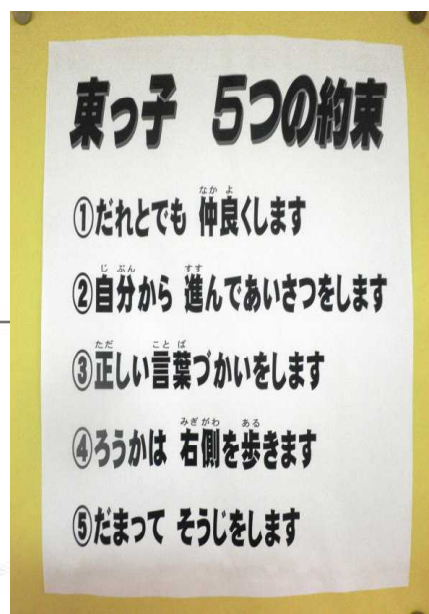
そ そっせんして

○「そ」のそうじについては、「さしすせそうじ」として心がけることを整理して、合い言葉にしています。

【生活規律】・ 東っ子 5つの約束

○3年前から、生活目標を「東っ子5つの約束」としてまとめ、全校で取り組んでいます。

○保護者アンケートによる保護者の願いや内部評価による学校の願いをもとに設定しています。



東っ子 5つの約束

【なかよく】

①だれとでも 仲良くします

- ・誰とでもベアになれる。話ができる。
- ※友達を「さん」「くん」を付けて呼ぶ。
- ※「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。

【あいさつ】

②自分から 進んであいさつをします

- ・名前が呼ばれた時に、きちんと返事ができる。
- ・朝、進んであいさつができる。
- ・来校者へあいさつができる。
- ・下校中に、地域の方へあいさつができる。
- ※一日の始まりの「おはようございます」を大きな声で言う。
- ※授業の始まりと終わりのあいさつを大切にします。

【言葉づかい】

③正しい言葉づかいをします

- ・先生に対して丁寧な言葉づかいができる。
- ・発表の時、きちんと返事をしたり丁寧に話したりできる。
- ・職員室へ、きまった言葉を言って出入りできる。
- ※「〇年〇組の〇〇です。〇〇先生に用があって来ました。入ってもいいですか。」
- 「失礼しました。」

【廊下歩行】

④ろうかは 右側を歩きます

- ・ろうかや階段の右側を歩くことができる。
- ※教室移動の時には担任が先導し、並んで歩いて移動する。

【そうじ】

⑤だまって そうじをします

- ・だまって掃除ができる。
- ※掃除の反省をして解散する。
- ※掃除の仕方や役割分担の仕方について指導をする。

○朝の会で、「東っ子5つの約束」を唱える場を設定して、毎日意識して生活できるようにしています。

○「月目標」ともリンクして、定着を図っています。

○学期に一度、児童や教員にアンケートを実施し、達成状況を把握したり重点目標を設定したりして指導を行っています。

【生活規律】・生活十か条

生活十か条

美作中学校区 美作第一・美作北小学校

- 1 だれにでも、大きな声で気持ちよくあいさつする。
- 2 自分の持ち物には、名前を書き、整理整頓をする。
- 3 当番（給食・掃除）や係の仕事に責任をもってやりとげる。
- 4 おたよりは必ずおうちの人に渡し、宿題や提出物は必ず出す。
- 5 必要ない物は、学校に持ってこない。
- 6 わがままで友だちを傷つけたり悲しませたりしない。
(仲間外し・悪口・あだ名・いじめなど)
- 7 人の話を、目・体・心に向けて静かに聞く。
- 8 大人や先生の注意を素直にきく。
- 9 みんなと協力して最後までがんばる。
- 10 みんなで使うものは大切にし、きちんとかたづける。

※ 美作中学校区の美作中学校・第一小学校・北小学校の、3校で生活十か条のきまりを検討し、十か条にまとめました。

※ 社会の中で責任をもって生きることができる大人へと育つよう、小学校・中学校の9年間を通じて、学校生活や家庭生活で大切にしたいことを設定しています。

※ 学校では、この十か条に気をつけて指導します。ご家庭でもご指導をお願いします。

○美作中学校の「生活十か条」は、学校生活の基本として指導した上で、教室に掲示して常に意識化しています。

○中学校区内の2小学校、1中学校の3校で協議し、共通の取組をしています。

○この中学校区の取組は、「トライアングル美作」として共通のお便りを出し、中学校区の様子や取組の紹介もしています。

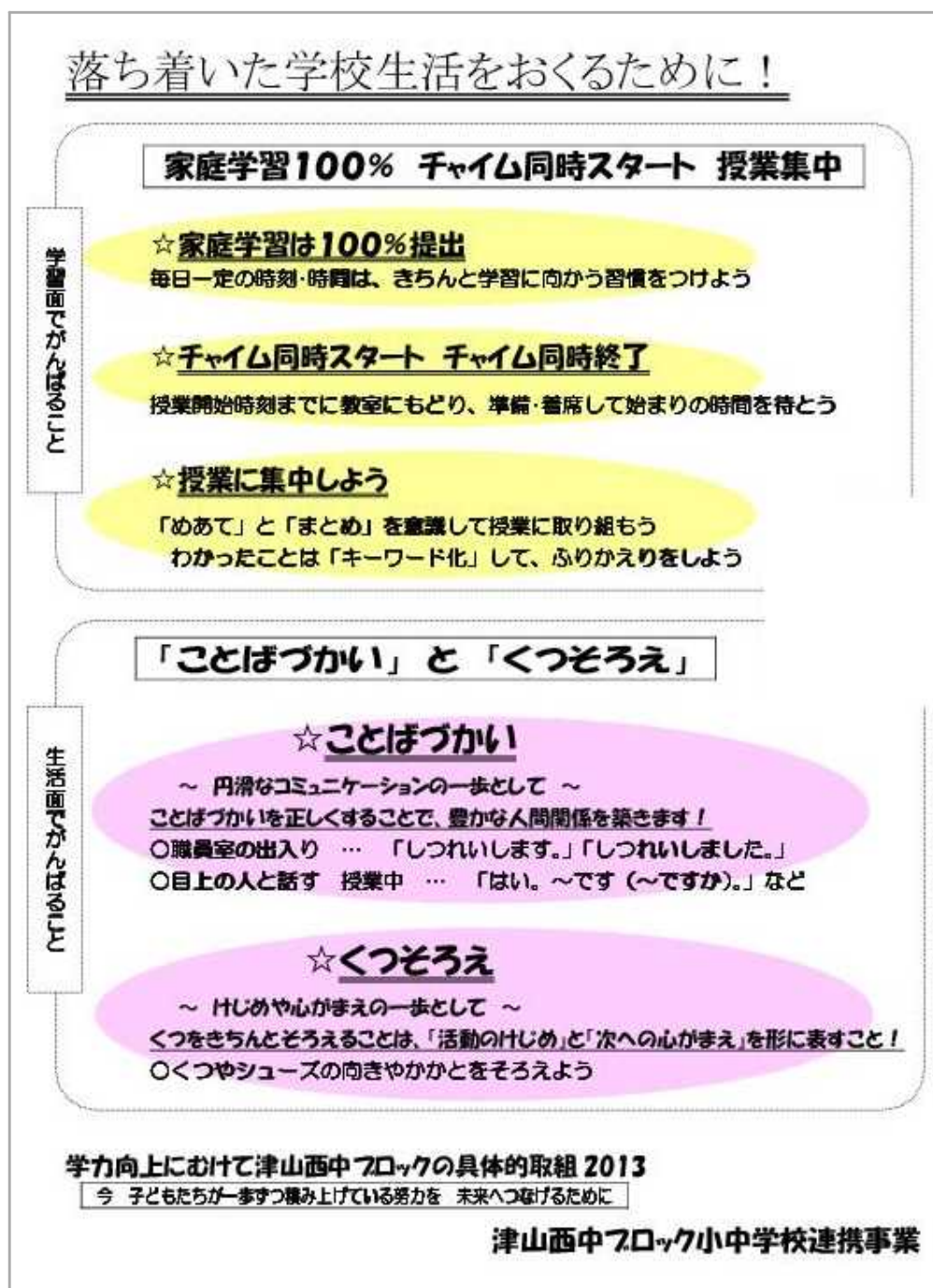
生活十か条

- ① 誰にでも、大きな声で気持ちよくあいさつする。
- ② 自分の持ち物には氏名を書き、整理整頓する。
- ③ 清掃や給食等の当番活動、係や委員会の仕事に責任を持って取り組む。
- ④ 指定された日までに、課題や提出物を必ず出す。
- ⑤ 不必要なものを、学校に持ってこない。
- ⑥ 人を傷つける発言や行動をしない。
- ⑦ 人の話を目と耳と心で聴く。
- ⑧ 地域の方や先生からの注意を素直に受け入れる。
- ⑨ 仲間と協力して、最後まで粘り強く取り組む。
- ⑩ 公共物や学校のものを大切に扱う。

【生活規律】・落ち着いた学校生活をおくるために！

○中学校区の小中連携事業として、生活面と学習面でがんばることを統一して取り組むことにしました。

○中学校区内の各家庭にも配布し、小中の連携、学校と保護者の連携のもとに取組を進めていっています。



【徹底に向けて】「生活チャレンジカード」の活用

- 本校の児童の実態から、特に重要だと思われる「身だしなみ」「ろう下歩行」「あいさつ」にしばって指導しています。
- 学期に1回程度、重点取組週間を設けています。
- 重点週間に「生活チャレンジカード」を実施します。



3つの約束!

やくそく

せいかつ

がっこうへん

生活チャレンジカード(学校編)

・これら3つは、みなさんが安全に生活し、まっすぐ成長するための大切な約束です。自分の行動を変えるのは、自分の正しい心です。

5/20~24日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ひかり 光った星の数
自分から進んであいさつをする。 						
ろうかをはみぎがわある右側を歩く。 						
身だしなみを整える。 (ぼうし・名ふだ・ハンカチ・ティッシュ・シャツを入れる) 						
1週間を振り返って	 Guts!! 15こ・・・すごい!パーフェクトだ! 12~14こ・・・がんばったね、そのちょうしで、つぎこそパーフェクトを! 11こまで・・・できることをがんばって!ファイト!					あわせて こ

「生活チャレンジカード」(学校編) ※ (家庭編) もあります。

- 点数を各学年で集計・分析した後、学年だよりで児童や保護者にお知らせするとともに、その後の指導にも活かします。

【徹底に向けて】「アンケート」の活用

○生徒指導上の重点項目として、「時間を守る」「トイレのスリッパそろえ」「なかよし掃除」「朝のあいさつ」の4項目を中心に生活のレベルアップを図ります。

○毎週、生徒指導担当を中心に、全職員で点検します。

(生徒指導担当は毎週、その他の教職員は4週に1回、点検カードにより点検し、生活の様子について情報交換します。)

○職員アンケートを年間4回実施し、児童のがんばりを把握します。

○児童アンケートを年間5回実施し、重点項目に対する意識付けを図るとともに、生活の向上に向けての児童の意識や自己肯定感等の内面もとらえるようにします。

○全校朝の会で、アンケートから見られる児童のがんばりや成長をグラフを使うなどして紹介し、取組の意欲がもてるようにしています。

○あいさつについては、児童会の取組を大切にするとともに、保護者や地域の協力を得ながら進めています。

くらしの様子		月第 週(/ ~)					
		A	B	C	D	E	F
時間を守る							
トイレのスリッパ							
掃除をする							
朝のあいさつ							
礼儀 (名前を呼ばれて「ハイ」、職員室に入る時「つれいします」など)							
仲良くすごす							
片づけ(あとしまつ)をする							
落ち着いたくらしをする							

(今週の取組について記入する。)

○子どもの様子

○その他(改善に向けての意見等)

来週に向けて

平成25年度 学校生活についてのアンケート		3年～6年				
※次のことについて、皆さんの気持ちや考えを教えてください。 あてはまるところに ○をつけましょう。						
しつもん		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	
1	勉強はよくわかる					
2	授業中、寝衣をしている					
3	授業は楽しい					
4	図書の本をよく読んでいます					
5	自分は勉強をがんばっていると思う					

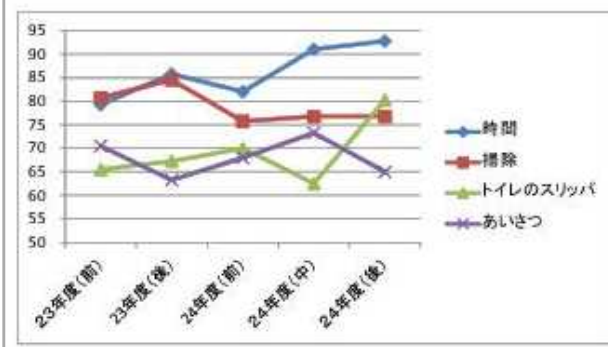
生活について		3年～6年				
しつもん		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	
1	学校は楽しい					
2	みんなと仲良く生活している					
3	まわりのみんなは優しくしてくれる					
4	あいさつができています					
5	時間を守っている					
6	トイレのスリッパをせいとんしている					
7	そうじを本気でしている					
8	自分はよくなっている(成長している)と思う					

9	自分たちの学級はまとまって力を発揮している					
10	先生に気軽に話をしたり相談したりすることができる					

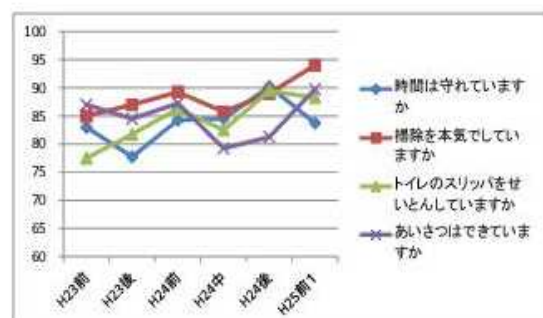
職員アンケート

児童アンケート

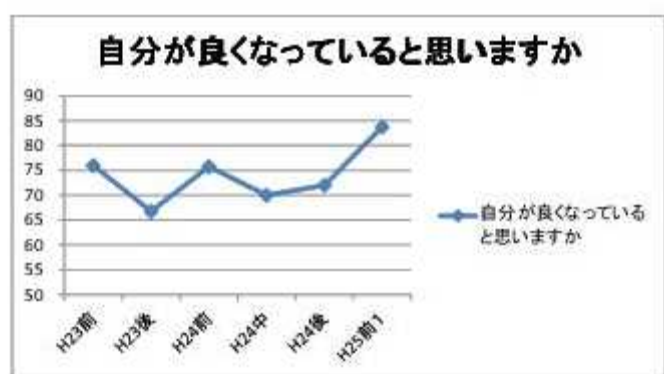
○先生から見た様子



○自分たちの意識



○自分がよくなっていると思いますか



全校朝の会で使用した
3種類のグラフ



○効果

- ・昨年度前半乱れていたトイレのスリッパが、後半はよくそろうようになりました。
- ・あいさつは、昨年度低調だったので、今年度は保護者や地域との連携をより進める中で取り組み、成果が徐々に出てきています。
- ・時間を守ることと掃除は年間を通してがんばることができています。
- ・自分たちはきまりを守っている、あるいはよくなっているという意識が増してきていると思われます。

津山市立中正小学校

4 学習習慣の定着に向けた 取組例

おかやまっ子の確かな学びをつくる 10のメッセージ



学校園・家庭・地域が力を合わせて、
次代を担うおかやまっ子の確かな学力を育てましょう。

学校園では



- 1 学び合う集団は、落ち着いた学習環境から**
落ち着いた雰囲気、学習に集中し、支え合い高め合う集団をつくりましょう。
- 2 一人一人の「わかった」「できた」を大切に**
個に応じたきめ細かな指導で、成長した自分が実感できるプロセスを大切に、学習意欲を高めましょう。
- 3 思いや考えを言葉で伝え合う活動の充実を**
だれに、何を、何のために伝えるかを意識できるよう、言葉の力の向上に努めましょう。
- 4 読書は心の栄養、本に親しむ習慣づくりを**
様々なジャンルの読書を通して、感性を磨き、想像力や思考力、表現力を高めましょう。
- 5 夢や希望、社会につながる体験を**
学ぶ意義を実感できるよう、子ども同士の協力や切磋琢磨、子どもと大人のふれあい等の体験を充実させましょう。

家庭では



- 6 生活リズムを整え、学習習慣の定着を**
早寝・早起き、朝ごはんなどの規則正しい生活、テレビやゲームのルールづくり、家庭学習の習慣づくりに努めましょう。
- 7 しっかりほめて、きちんとしかる**
失敗から学ぶことを大切に、結果だけでなくがんばった過程をほめ、人として許されないことはきちんと教えましょう。
- 8 自分のことは、自分でできるように**
子どもが自分から進んで取り組んだり、家族の一員として役割や責任を果たしたりできるよう支援しましょう。

地域では



- 9 あいさつや声かけで、子どもとのつながり大切に**
あいさつや声かけで、子どもと気持ちをかよわせ、大人同士が協力して地域全体で子どもを育てましょう。
- 10 みんなで、おかやまっ子の育成を**
ボランティア等として教育活動に参加したり、体験活動の場を提供したりしましょう。

岡山県教育委員会

【習慣化】・家庭学習の手引き

平成25年度 **家庭学習の手引き** 《1・2年版》
鏡野町立南小学校

学習習慣の定着 ～伝え合い、学び合う子どもをめざして～

家庭学習は、みずから取り組む学習習慣の定着を図る大切な時間です。鏡野中学校区全体の子どもたちで取り組んでいます。おうちの方の手助けや励ましで、1・2年生の児童にとってはとても大きな力となります。

家庭学習のしかた

学習じかんのめやすは、
ぜんぶで20ぶんいじょう。

- 1 まず、宿題（しゅくだい）をしよう。
- 2 つぎに親子学習をして、
自主学習の習慣をつけよう。
漢字・計算練習、音読、読書
よみかせ、よしゅうなど

取り組んでほしい学習習慣

- ①はじめる時など、やくそくをきめる。
- ②テレビ・ゲームなどを消す。
- ③学習する場所（机）をきめ、そのまわりを整理整頓する。
- ④背すじをのばし、正しい姿勢で座る。
- ⑤鉛筆を正しくもつ。
- ⑥根気強く、ていねいに書く。
- ⑦ていねいな言葉づかいをする。
- ⑧わからないことは調べる。（辞典、教科書など）

平成25年度 **家庭学習の手引き** 《3・4年版》
鏡野町立南小学校

学習習慣の定着 ～伝え合い、学び合う子どもをめざして～

家庭学習は、みずから取り組む学習習慣の定着を図る大切な時間です。鏡野中学校区全体の子どもたちで取り組んでいます。おうちの方の手助けや手助けが3・4年生の児童にとってはとても大きな力となります。

家庭学習のしかた

学習時間のめやすは、
全部で学年×10分以上。

- 1 まず、宿題をしよう。
- 2 次に、自主学習をしよう。
漢字・計算練習、復習
予習、音読、読書など
（時間は15分程度を目標に）

取り組んでほしい学習習慣

- ①始める時刻など、約束を決める。
- ②テレビ・ゲームなどを消す。
- ③学習する場所（机）を決め、その周りを整理整頓する。
- ④背すじをのばし、正しい姿勢で座る。
- ⑤鉛筆を正しくもつ。
- ⑥根気強く、ていねいに書く。
- ⑦ていねいな言葉づかいをする。
- ⑧分からないことは調べる。（辞典、教科書など）

○児童の発達段階に応じて、低・中・高学年用の「家庭学習の手引き」を作成し、各家庭に配布しました。

○家庭学習の時間のめやすや取り組むこと、身に付けて欲しい学習習慣について記載しています。

平成25年度 **家庭学習の手引き** 《5・6年版》
鏡野町立南小学校

学習習慣の定着 ～伝え合い、学び合う子どもをめざして～

家庭学習は、みずから取り組む学習習慣の定着を図る大切な時間です。鏡野中学校区全体の子どもたちで取り組んでいます。高学年になっても、おうちの方の励ましや手助けが児童にとってはとても大きな力となります。

家庭学習のしかた

学習時間のめやすは、
全部で学年×10分以上。

- 1 まず、宿題をしよう。
- 2 次に、自主学習をしよう。
漢字・計算練習、復習
予習、音読、読書など
（時間は20分程度。）

取り組んでほしい学習習慣

- ①始める時刻など、約束を決める。
- ②テレビ・ゲームなどを消す。
- ③学習する場所（机）を決め、その周りを整理整頓する。

親子で



取り組んでほしい学習習慣

- ①始める時刻など、約束を決める。
- ②テレビ・ゲームなどを消す。
- ③学習する場所（机）を決め、その周りを整理整頓する。
- ④背すじをのばし、正しい姿勢で座る。
- ⑤鉛筆を正しくもつ。
- ⑥根気強く、ていねいに書く。
- ⑦ていねいな言葉づかいをする。
- ⑧分からないことは調べる。（辞典、教科書など）

親子で



【習慣化】・家庭学習の方法

○「学習の手引き」の中に、家庭学習の進め方についてのヒントとして、「家庭学習の方法」をのせています。

○家庭学習に欠かせない予習・復習を実践する手立てとして、教室で説明して活用しています。

第2章 家庭学習の方法

※学力向上には、家庭学習の時間を確保することが大切です。

予習 → **授業** → **復習** というサイクルを実践しましょう。

予習・復習の仕方については、各教科の授業の受け方・自主学習の仕方を参考にしましょう。

《 家庭学習のポイント 》

学習する場所を決めよう！

- 1 落ち着いて学習できる場所を決めましょう。
- 2 机の周りの整頓をしましょう。

スケジュール表をつくらう！

- 1 計画的に家庭学習を進めましょう。
- 2 勉強時間を決めましょう。
- 3 生活のリズムを整えましょう。

家庭学習時間のめやす

1年生	1時間30分
2年生	2時間
3年生	3時間

復習をしよう！

- 1 まず、宿題をすませましょう。
- 2 今日、学校で勉強したことを思い出してみましょう。
- 3 教科書、ノート、プリントなどを見直しましょう。
- 4 問題を解いてみましょう。

予習をしよう！

- 1 明日の授業で学習する教科書のページを読みましょう。
- 2 大切なところに線を引き、わからないところに印をつけましょう。
- 3 わからない言葉、単語などを、辞書で調べましょう。
- 4 問題を解いてみましょう。

※ 土曜日、日曜日には、一週間のまとめをしましょう。



毎日続けていると、勉強もわかるようになる。やりとげると楽しくなるよ。

「学習の手引き」より

【質の向上】・さあ、はじめよう！

さあ、はじめよう！

小学校 1・2 年生

べんきょうをはじめるまえに

- べんきょうするときは、テレビをけしましょう。
- つくえの上をかたづけましょう。
- 学校からのプリントなどをおうちの人にだしましょう。
- 正しいしきいでべんきょうしましょう。

べんきょうじかんをすること

毎日がんばろう！！

○1・2年生のべんきょうじかんは、20分～30分がめやすです。

○しゅくだい・どくしょをまい日、きちんとしましょう。

しゅくだい・どくしょについて

○しゅくだいは、15分～20分くらいが、めやすです。

○わからないところは、おうちの人や学校で先生にききましょう。

○どくしょは、5分～10分くらいがめやすです。

○どくしょの本は、図書室やおうちにある本などをよみましょう。

学習をするときは…

国語

☆ひらがな・カタカナ・かん字が正しく書けるようにしましょう。

☆かきじゆんにちゅういしてかきましょう。

☆大きな字でいいいかにかきましょう。

☆文しょうは、「は」「へ」「を」にちゅういしてかきましょう。

☆本よみのときは、正しいしきいで、「」や「。」にきをつけてよみましょう。

算数

☆ずう字は、正しいかきじゆんでかきましょう。

☆ちゅういするずう字) 5 8 9 0

☆もんだいをよんでわかつていることには、なみせんをひきましよう。

☆こたえにつけるたんいんに○をつきましょう。(れい) なん

☆できたら、みなおしをましよう。

て、おうちの人に見てもらいましょう。

べんきょうがおわったら

- べんきょうをしたことをおうちの人に見てもらいましょう。
- ふでばこの中、じかんわりをそろえましよう。

○家庭学習について発達段階に応じて設定し、
お便りを作成して各家庭に配布しています。

さあ、はじめよう！

小学校 5・6 年生

勉強をはじめるまえに

- 勉強するときは、テレビをけしましょう。
- 机の上をかたづけましょう。
- 学校からのプリントなどをお家の人に出しましょう。
- 正しいしきいで勉強しましょう。

勉強時間と内容

毎日がんばろう！！

○5・6年生の勉強時間は、50～60分が目安です。

○宿題・読書を毎日、きちんとしましょう。

○宿題や読書が終わったら自主勉強にも挑戦しましょう。

宿題・読書・自主勉強について

○宿題と自主勉強は、40～50分くらいが、目安です。

○わからなかった問題は、教科書やノートを見て調べましよう。

○読書は、10分～20分くらいが目安です。

○自主勉強は、算数や国語を中心に苦手な問題や、興味のあることに挑戦ましよう。

自主勉強もがんばろう

国語

☆習った詩や心に残った文章を暗唱してみましよう。

☆新しく習った漢字や覚えていない漢字の練習をましよう。

☆漢字のへんやつくり、書き順に注意して練習ましよう。

☆好きな本や教科書も読んでみましよう。

☆本を読んで分からないことがあったら、辞書で調べてみましよう。

算数

☆算数の文章問題を解くときは、分かっていることに、問わて ることに なみせんを引きましよう。

☆文章題の解き方の説明をノートに書きましよう。

☆筆算や図形をかくときには、定規を使って線を引きましよう。

☆分からなかった問題は、教科書やノートを見て 調べましよう。

その他

☆自主勉強用のノートを用意して勉強ましよう。

☆学校で学習したことを読み直して、大事なところをノートに まとめましよう。

☆次に学習するところを読んだり、まとめたりしてみましよう。

☆都道府県名や県庁所在地を覚え、漢字で書けるようにましよう。

☆不思議に思ったことをいろいろな方法で調べてみましよう。

☆問題集などを用意して取り組むのもいい方法です。

☆新聞を読んだり、テレビのニュースを見たりして、まとめたり、考えを書いたりましよう。

勉強が終わったら

- 勉強をしたことをお家の人に見てもらいましょう。
- ふでばこの中、時間割をそろえましよう。

さあ、はじめよう！

小学校 3・4 年生

勉強をはじめるまえに

- 勉強するときは、テレビを消しましよう。
- つくえの上をかたづけましよう。
- 学校からのプリントなどをお家の人に出ましよう。
- 正しいしきいで勉強ましよう。

勉強時間と内容

毎日がんばろう！！

○3・4年生の勉強時間は、40～50分がめやすです。

○宿題・読書を毎日、きちんとましよう。

○宿題や読書が終わったら自主勉強にもちようせんましよう。

宿題・読書・自主勉強について

○宿題と自主勉強は、30～40分くらいが、めやすです。

○わからなかった問題は、教科書やノートを見て調べましよう。

○読書は、10分～20分くらいがめやすです。

○自主勉強は、算数や国語を中心に苦手な問題やきょうみがあることにちようせんましよう。

自主勉強にチャレンジ

国語

☆字は、ゆっくり・大きく・いいいかに書きましよう。

☆習ったことばを使って文を作ってみましよう。

☆新しく習った漢字や覚えていない漢字の練習をましよう。

☆漢字のへんやつくり、書き順に注意して練習ましよう。

☆好きな本や教科書も読んでみましよう。

☆本を読んで分からないことがあったら、辞書で調べてみましよう。

算数

☆算数の文章問題をとくときは、分かっていることに、問わて ることに なみせんを引きましよう。

☆文章題の解き方の説明をノートに書きましよう。

☆筆算や図形をかくときには、定規を使って線を引きましよう。

その他

☆都道府県名や岡山県の市町村名を覚えて、漢字で書けるようにましよう。

☆新聞を読んだり、テレビのニュースを見たりして、まとめたり考えを書いたりましよう。

☆月の動きや星の観察をましよう。

☆不思議に思ったことをいろいろな方法で調べてみましよう。

勉強が終わったら

- 勉強をしたことをお家の人に見てもらいましょう。
- ふでばこの中、時間割をそろえましよう。

○特に、自主勉強について、低・中・高学年それぞれに合わせた取組例を数種類のせており、児童が自ら進んで学習できるようにしています。

【質の向上】・自主学習一覧表

○「学習の手引き・自主学習一覧表」を作成し、生徒が自ら自主学習を設定して取り組めるようにしました。

自主学習をがんばろう		氏名 ()
全学年共通		選択番号
国語	① 宿題として出された以上に漢字練習を行う。(教科書や反復帳を活用) ② 語句の意味調べを行う。 ③ 習った事柄を、自主学習帳にまとめ直す。 ④ ワークや配布プリントの問を書き写し、自主学習帳に解答を記入する。 ⑤ 市販の問題集を購入する。	
社会	① 小テストや習った部分の重要語句は確認をする。(1日5つずつでも) ② 年表を自分で作成したり、手書きの地図を作成し、そこにその場所の特徴を書き入れたりして、自分が見て分かるように整理する。 ③ 校内プリント、単元プリントの間違った部分をやり直す。 ④ ワークは一回解いて、間違えた部分はもう一度解きなめす。 ⑤ 新聞記事やニュースを見る。 ⑥ おすすめテレビ番組『世界ウルルン滞在記』、『県民SHOW』、『歴史秘話ヒストリー』、『ビートたけしのTVタックル』、『学べるニュース』、『大河ドラマ』など ⑦ テレビを見ながら地図帳で確認する。 ⑧ 図書館にある日本の歴史や図鑑を見る。	
数学	① その日の授業の例題や問題をもう一度解いてみる。 ・ノートや解答を見て確認をする。 ・間違えていたら、もう一度挑戦。 ② 教科書の問題(練習問題や章末問題)を解いて練習をする。 ③ リピートの問題をもう一度解き、同じようにできるか確認をする。 ④ 以前間違えていた問題をノートに書き出し、練習をする。 ⑤ 1つの単元をノート見開き2ページでまとめる。 ⑥ ペア学習の問題をノートに書いて、解いてみる	
理科	① その日授業で習ったところを、その日のうちに、必ず見直し、実験の結果や重要事項を覚える。 ・ワークのノート欄と、ワーク後半の問題集を必ずする。 ② 理科を勉強する上で一番重要なことは、興味を持つことです。覚える前に、理科の内容に興味を持たないと、意味はありません。	
英語	① 授業でなかったページの新しい単語を書けるようにする ② 授業で習ったページの本文を10回読む→読めたら暗記→暗記できたら書けるように練習 ③ ジョイフルワーク単語・連語チェックを使って、日本語→英語、英語→日本語 (1日10問ずつでも→できなかつたら単語練習ノートに練習) ④ ジョイフルワーク基本文＆重要表現の総チェックを使って (1) 日本語→英文、英文→日本語に言ってみる (2) 日本語→英文に書いてみる (1日5文ずつでも→できなかつたら単語練習ノートに練習) ⑤ 教科書の出してきた単語・連語を英和辞書で引き、例文を読んでノートする ⑥ 英文2～3文で日記をつけてみる(和英辞書を活用する) ⑦ テレビの2カ国語放送でニュースや映画を英語で聞いてみる ⑧ NHKのラジオ講座で英語を学習する ⑨ 年3回ある英語検定に挑戦してみる→問題集に挑戦する ⑩ 図書室にある英文のドラえもんの本を読む(日本語訳もある)	

受験勉強をがんばろう		氏名 ()
3年生		選択番号
国語	⑥ 新研究を解いたり、○付け直しを繰り返し行ったりする。 ⑦ これまでやった校内プリントをもう一度やってみる ⑧ 高校入試用の問題集を購入して挑戦する	
社会	⑨ 新研究を一回する。二回目は、間違えた部分をする。 ⑩ 校内プリントをする。 ⑪ 岡山県の入試問題に挑戦する。	
数学	⑦ 3年間の総整理の問題を解く。 ⑧ これまでやった校内プリントをもう一度やってみる。 ⑨ 入試対策問題集(もう少し先で配布)を繰り返し行う。	
理科	③ 「高校入試全国リレー」を必ず毎日する。その際に、新研究や教科書を利用して、わからないところは自分で調べる努力をすること。 ④ 1年からの内容をすべて見直し、いくつかの項目や語句に関連付けて覚えることが大切。	
英語	⑪ 整理と対策の今までやった問題をもう一度やってみる ⑫ これまでやった校内プリントをもう一度やってみる ⑬ 高校入試用の問題集を購入して挑戦する	

「学習の手引き・自主学習一覧表」より

○3年生向けには、「受験勉強をがんばろう」として、さらに受験勉強用の自主学習の項目を付け加えた一覧表を作成しています。

【小中連携】・家庭学習の手引き

○校区内の3小学校、1中学校が互いに情報交換しながら、校区連絡会として「児童生徒の学力向上」、「あいさつの習慣づくり」をめざしています。

平成24年度 家庭学習の手引き

哲多中学校区では、哲多中学校、本郷小学校、萬歳小学校、新砥小学校の4校が、互いに情報交換しながら、校区連絡会として次のことをめざします。

○児童生徒の学力向上
○中学校区の学区をあげた、あいさつの習慣づくり

◇ 家庭学習について

○ 家庭学習のポイント

- ・めやすの時間は、学年×10分(小1…15分)。
- ・その時間にどれだけのことができたかという内容も大切です。
- ・まずは、その日の宿題として出された学習(課題)を、きちんとすませ、残りの時間で発展学習や自主学習に取り組みましょう。

○ 家庭学習のめやす(平均的な家庭学習の時間や学習内容のめやす)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校
めやす	15分以上	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	2時間以上

内 容

★ 少しずつ次の段階へステップアップしましょう。
★ 学年が上がるにつれ、自主的な学習にも取り組んでいきましょう。

★漢字、計算、音読、日記などの、宿題

★復習・予習

★自主学習

★読書

★発展学習

毎日の課題
・各教科の課題
・予習・復習
・生活ノート

定期考査や実力テスト、入試に向けた学習
学力向上を目指す自主的な学習

3つのやくそく

- 帰ったらすぐ、宿題をします。
- テレビなどをつけないで、集中して学習します。
- 勉強が終わったら、次の日の用意をします。

◇ 「あいさつ運動」について

一人ひとりが、友達の見や考えを受け入れ自らの考えをもつことができるようになると、教室みんなの学びがさらに深まっていきます。まずは、学区をあげて「あいさつ運動」に取り組み、素直でやさしい心を育て、互いに信頼できるコミュニケーションと学び合う環境を築いていきたいと考えています。学校や家庭、地域でも、気持ちのよいあいさつを実践していきましょう。

「**あ**りがとう」「**い**ただきます」「**う**れしいあいさつ**え**がおで」「**お**はよう」

○平成24年度は、「家庭学習」と「あいさつ運動」に重点化した配布物を作成し、中学校区内の全ての家庭に配布し、協力を呼びかけました。

【保幼小中高連携】・規則正しい生活リズムの確立と家庭学習習慣定着のための目安表

○小中の連携だけでなく、学区内の保育園・幼稚園、高等学校とも連携を図り、就学前から高等学校まで15年間を見通した目安表を作成しました。

規則正しい生活リズムの確立と家庭学習習慣定着のための目安表

新見南中学校区 保・幼・小・中・高

保育・教育の目的 人格の完成を目指し、幼児・児童・生徒の人間として調和(知・徳・体)のとれた育成を行う。	保育園・幼稚園			小学校						中学校			高等学校		
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
親子のふれあい・親の関わり	①日ごろから、子どもの話をじっくり聞く、同じ目の高さで考える、深い関心を払う。(親に愛されている実感) ②自分で課題を解決していくとする能力の育成(自立・自律の支援)														
	①スキンシップ ②一緒に遊ぶ ③絵本などの読み聞かせ ④後片付け ⑤がまんの心を育てる			①一緒に遊ぶ ②会話をし楽しむ ③共にする読書 ④共にする課題 ⑤共にする家事						①他の子との比較にとらわれない心の余裕 ②共に語る将来の生き方			積極的に関わる進学・就職		
早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き	家族みんなで「できる」ことを目指して、取り組む。														
バランスのよい食事	好き嫌いをしないで食べる。						心身の健康を考え、栄養のバランスを考えて三度の食事をとる。								
身だしなみ	自分なりに身だしなみを整える。			TPOに応じた身だしなみの基礎を身につける。						TPOに応じた身だしなみができる。					
手伝い・仕事 家族や地域の中での役割	できることを楽しみながら目標を決めてがんばる。			目標を決めて家族のために頑張る。				家族に貢献し、地域に参加する。				家庭・地域に貢献する。			
礼儀・あいさつ	明るく元気に自分からあいさつができる。			相手の目を見て明るく元気に自分からあいさつができる。			心を込めたあいさつが相手より先にできる。			TPOに応じた相手に好感を与えるあいさつができる。					
聞く態度	だまって、相手の目を見て話をきこうとする。			だまって、相手の目を見て姿勢良く聞くことができる。			相手の目を見て、相手の気持ちを考えながら姿勢良く聞くことができる。			自分の考えと比べながら、うなずいたり、相手の意図を理解すると共に、自分の考えをより高める気持ちで聞くことができる。			相手の意図を理解すると共に、自分の考えをより高める気持ちで聞くことができる。		
起床時刻	6:30									定時に自分で起きる。			4点固定 ①起床時刻 ②帰宅時刻 ③家庭学習開始時刻 ④就寝時刻 ※睡眠時間の目安は各自で決める。		
就寝時刻	8:30			9:00			9:30	10:00		11時までには寝る。					
目安とする睡眠時間	10時間(年少児は午睡が必要)			9時間30分			9時間	8時間30分		7時間30分					
テレビを見る時間	時間を決めて見る。ノーテレビ・ノーゲームデーに取り組む。														
家庭学習時間				10分 ～20分	20分 ～30分	30分 ～40分	40分	50分	60分+α	2時間以上			平日と休日を平均した週当たりの1日目標学習時間 3時間～4時間 4時間～5時間		
				音読、漢字練習、計算練習、自主学習など						予習→授業→復習・自主学習のサイクルを確立			※予習→授業→復習・演習のサイクルを確立 ※資格取得に向けた取り組み		
家庭学習の留意事項	「…しながら」をさける生活をする。			テレビを消して、ふさわしい場所で、毎日学習する。						家庭や自己の生活スタイルに合わせて、学習時間を確保する。(課題提出の厳守)					
その他の取組				「学習の手引き」「家庭学習の手引き」の活用						「生活のしおり」「生活ノート」の活用			「生徒手帳」「進路の手引き」「進路ノート」の活用		

○規則正しい生活リズムの確立のために「起床時刻」「就寝時刻」「睡眠時間」など、家庭学習習慣の定着のために「学習時間」「学習内容」「留意事項」などの目安を示すことにより、発達段階を見通して指導にあたることができます。

○中学校区の各家庭に配布し、家庭との連携にも活用している。

